

## 盛岡市議会議長選挙にあたっての日本共産党盛岡市議団の立場について

2017年8月29日

日本共産党盛岡市議会議員団

団長 庄子 春治

盛岡市議会議長及び副議長の辞職願が提出されたことに伴って、2017年9月議会で実施される予定の次期議長選挙及び、副議長選挙について、会派の見解を次の通り表明します。

1、今回実施される議長選挙、副議長選挙には日本共産党盛岡市議団として候補者を擁立しないこととし、議長第一会派からの候補者、副議長は第二会派からの候補者を基本としつつ、最終的には各候補が述べる所信表明を聞いたうえで判断します。

2、その理由は次の通りです。

私たちの会派はこれまでの議長選挙において、議会が地方自治における「二元代表」の一翼として役割を発揮することを基本として、盛岡市議会のあるべき姿、議会改革の方向を提案し、独自候補を擁立してきました。提案してきた主な項目は次の通りです。

- (1) 市民に開かれた議会をめざし、市民の意見の的確な反映をめざすこと
  - (2) 市長および執行機関に対するチェック機能と、政策立案能を強化すること
  - (3) 少数会派の意見を尊重し、公平で民主的運営を行うこと
- などです。

この間、盛岡市議会は議会改革に取り組みつつ、その一つの成果として2013年9月議会において「議会基本条例」を制定しました。そしてその条例を基本にしつつその後も議会改革を進めてきました。

政務活動費の使途基準の厳格化と議会ホームページでの公開、請願者からの意見聴取を原則としてきたこと、議会委員会の正副委員長を各会派に公平に割り振ってきたことなど、評価できるものです。また、その進め方においても各会派の議論を尽くしながら、民主的に進められてきていることも重要なことです。

今後の盛岡市議会の更なる議会改革を進めるにあたっては、これまでの進め方を踏襲しつつ、議論を尽くすことが必要であると考えます。

これらの経過と到達点を踏まえ、今回は「第一会派から議長、第二会派から副議長」を基本にするとしたものです。

### 3、今後の議会改革への提案

日本共産党盛岡市議団は、今後の盛岡市議会の議会改革について次の提案をし、新しい議長の下での積極的な議論を呼びかけます。

(1) 市民により開かれた市議会にするため、各地域・階層、テーマごとの「市民意見交換会」の開催など議会報告会の充実・改善を図ること。「一問一答方式」の一般質問の持ち時間を「一括方式」と同じ時間としその充実を図ること。

(2) 議会のチェック機能の一層の発揮のため、審議の充実を図ること。当局提案の議案については、関連資料の事前提出を求め、特別委員会設置による決算審査の充実を図ること。

(3) 議会の政策立案・議案提案機能の強化のため、大分市議会が実施している「政策研究会」の取り組みを参考にするなど、新たな仕組みを作りを検討すること。

(4) 政務活動費の使途基準とその公開、費用弁償のあり方など、市民の声を反映させながら、不断の改善に努めること。

(5) 地方の声を国政に反映させるため、憲法と地方自治法に基づく市議会の役割を積極的に果たすようさらに努力すること。

日本共産党盛岡市議団は、他の会派とともに議論を尽くし、市民の期待に応える盛岡市議会となるため引き続き努力します。

以 上